

2022年2月期 第3四半期決算補足資料

JNSホールディングス株式会社
2022年1月14日



JINS | : 2022年2月期第3四半期 決算概要

◆コンテンツサービスの牽引やデバイスソリューションの復調により、第3四半期累計の売上高は前年同期比11%増、営業利益は同85%増

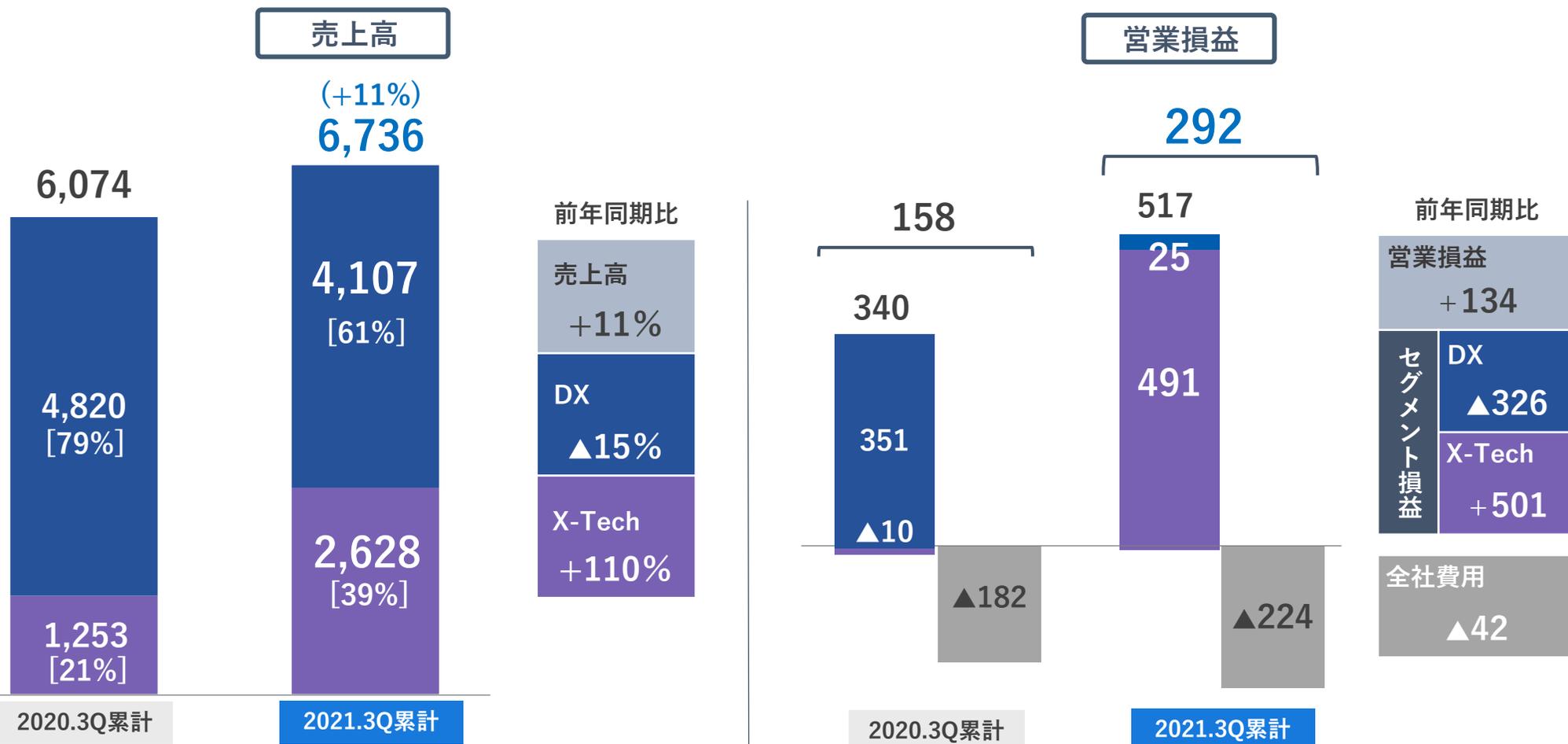
◆(株)バリューデザインの株式一部売却に伴う特別利益等により、純利益は前年同期比322%増

単位：百万円	2020.3Q累計	2021.3Q累計	前年同期比	
			百万円	%
売上高	6,074	6,736	+662	+11%
総利益 (%)	1,798 (30%)	2,506 (37%)	+708 (+7%)	+39%
販管費 (%)	1,640 (27%)	2,214 (33%)	+574 (+6%)	+35%
営業利益 (%)	158 (3%)	292 (4%)	+134 (+1%)	+85%
経常利益 (%)	137 (2%)	189 (3%)	+52 (+1%)	+38%
純利益 (%)	148 (2%)	625 (9%)	+477 (+7%)	+322%

連結売上高・営業損益(第3四半期累計)

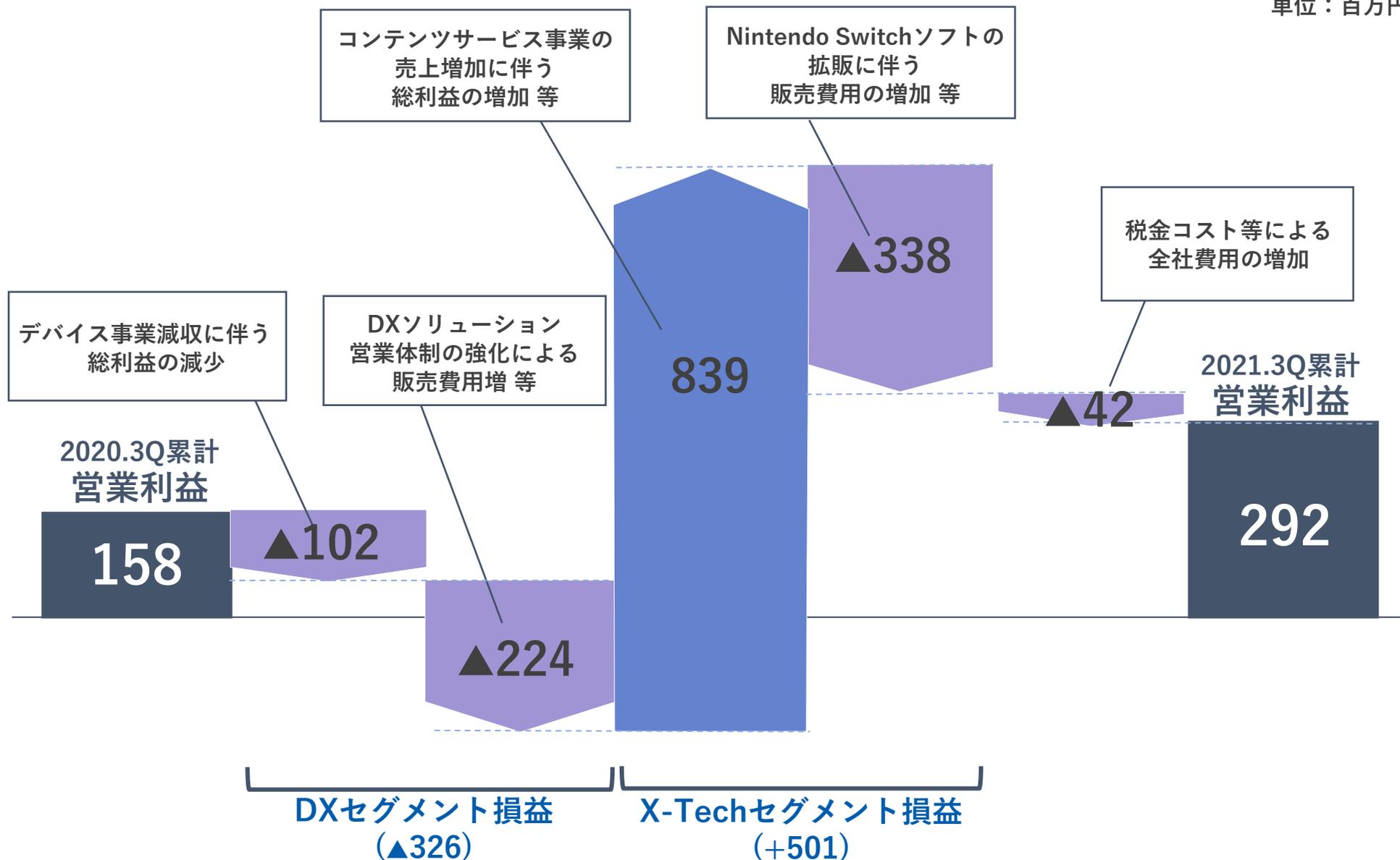
- ◆DXソリューション事業はデバイスソリューションの復調に伴い、第3四半期累計において黒字転換
- ◆X-Techサービス事業は夏商戦を終えNintendo Switchソフトの出荷が鈍化するも、教育やヘルスケア分野のDX需要が堅調に推移し利益を上積み

単位：百万円 () 内は前年同期比 []内は構成比



営業損益増減要因（対前年同期比）

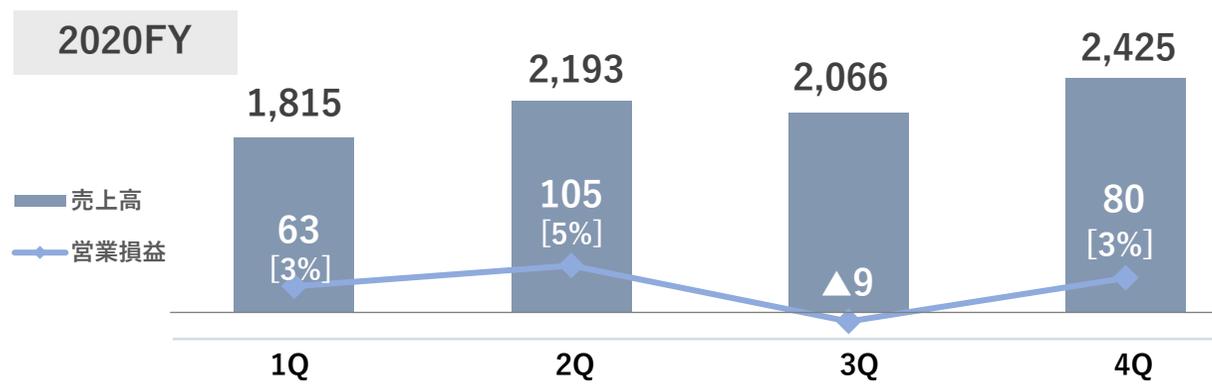
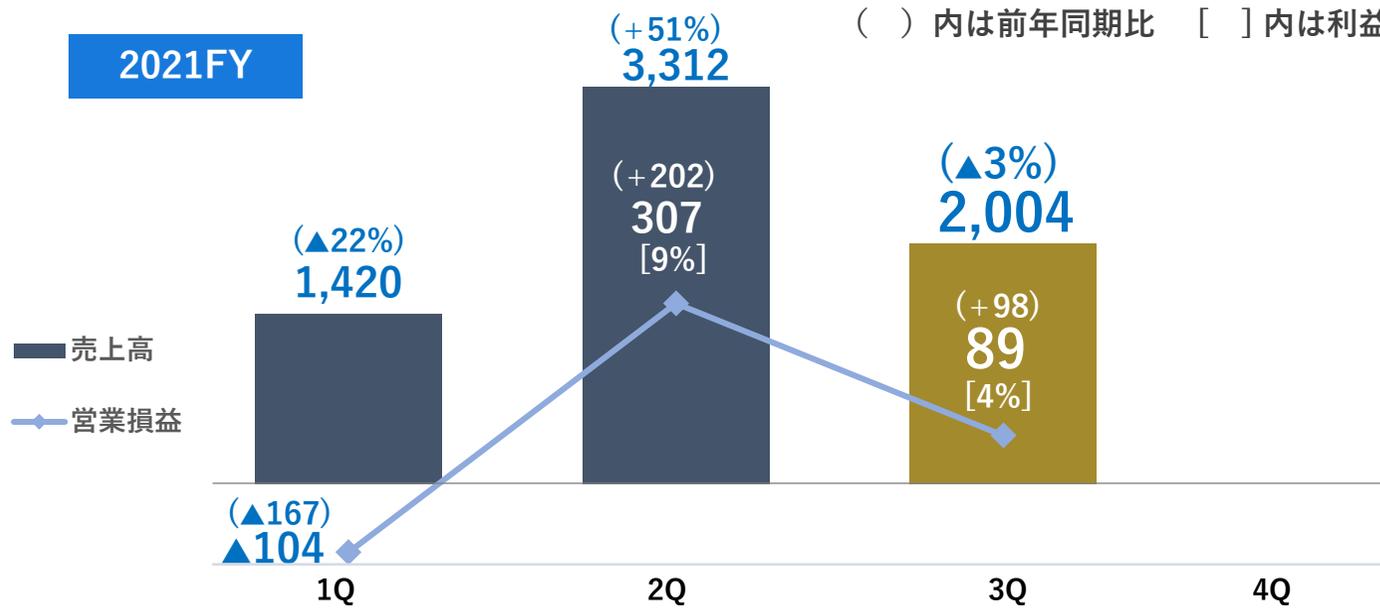
単位：百万円



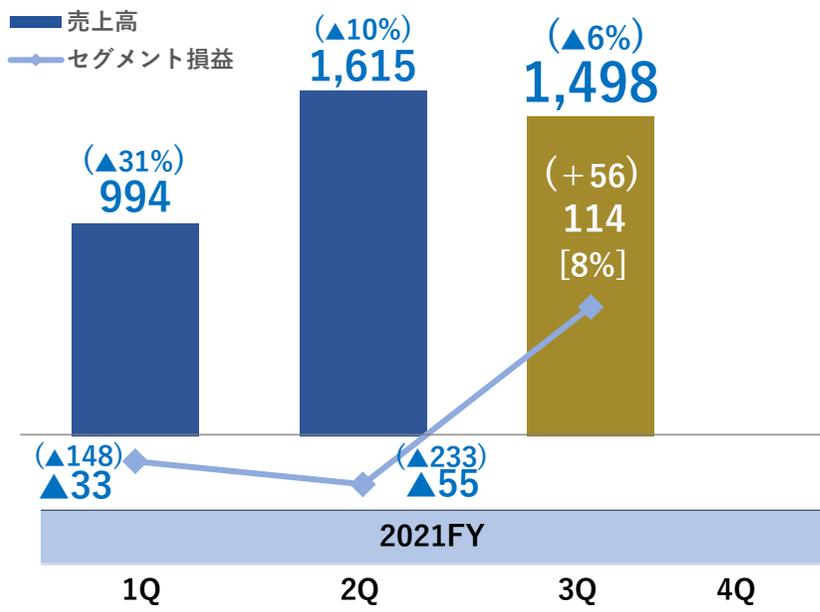
第3四半期の売上高は前年同期で微減となるも、営業損益は大きく増益

単位：百万円

() 内は前年同期比 [] 内は利益率 ※マイナスの場合は省略



単位：百万円 ()内は前年同期比 []内は利益率 ※売上は外部売上のみ

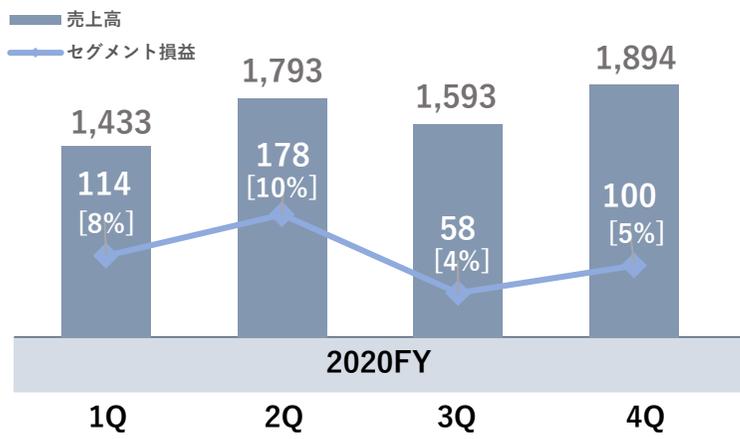


2021FY 3Qサマリー

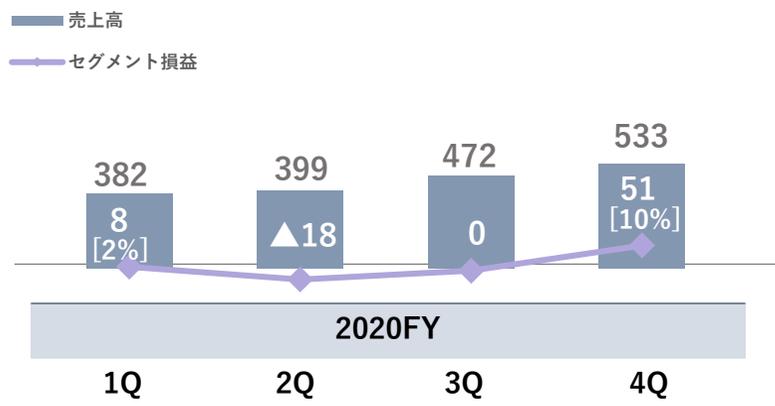
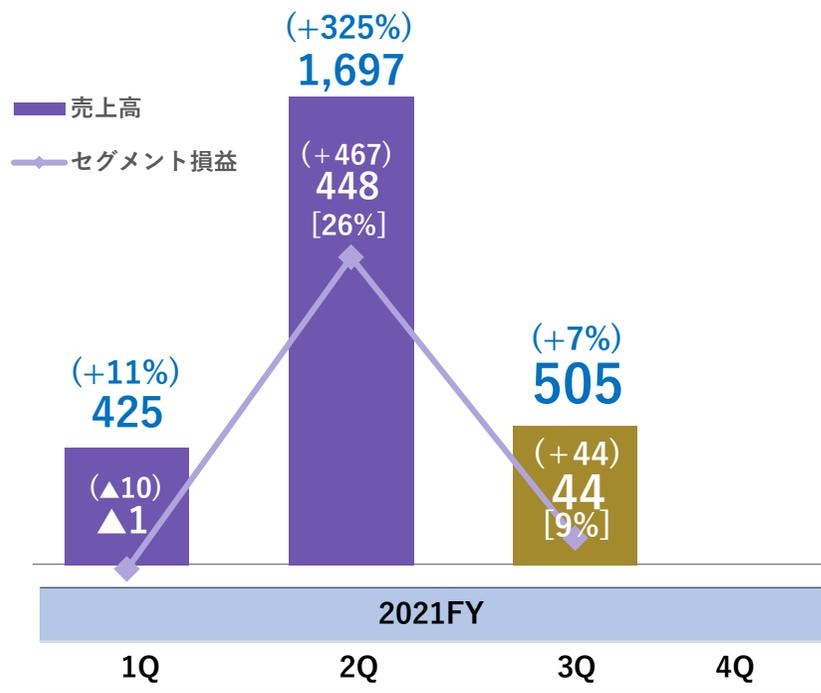
デバイス事業の復調等により大きく増益
前期までの赤字から黒字に転換

◆デバイスソリューションは、IoTデバイスや法人向けICT製品の受注が好調。半導体不足に対しては、設計変更や先行調達が奏功し生産正常化を実現

◆サービスソリューションは、コロナ禍で停滞していた既存クライアントからの受注が回復



単位：百万円 ()内は前年同期比 []内は利益率 ※売上は外部売上のみ



2021FY 3Qサマリー

**Switchソフトが夏商戦を終え
出荷鈍化するも、DX気運を追い風に
前年同期で増収増益を継続**

◆コンテンツ系サービスは、教育コンテンツやヘルスケアサービスなどのプロデュース事業や法人向け健康経営支援サービスなどが好調に推移

◆ビジネス系サービスは、法人におけるDXニーズの拡大を背景に、OfficeBOTやクラウドアドレス帳が順調に拡大

貸借対照表概況

- ・ 上場株式の売却、金融機関からの借入実行等に伴い現金及び預金が増加
- ・ 有価証券の減少等による固定資産の縮小

- ・ 長期借入金増加による固定負債の増加
- ・ 利益増加に伴う株主資本の増加
- ・ 自己株式取得に伴う純資産の減少

単位：百万円

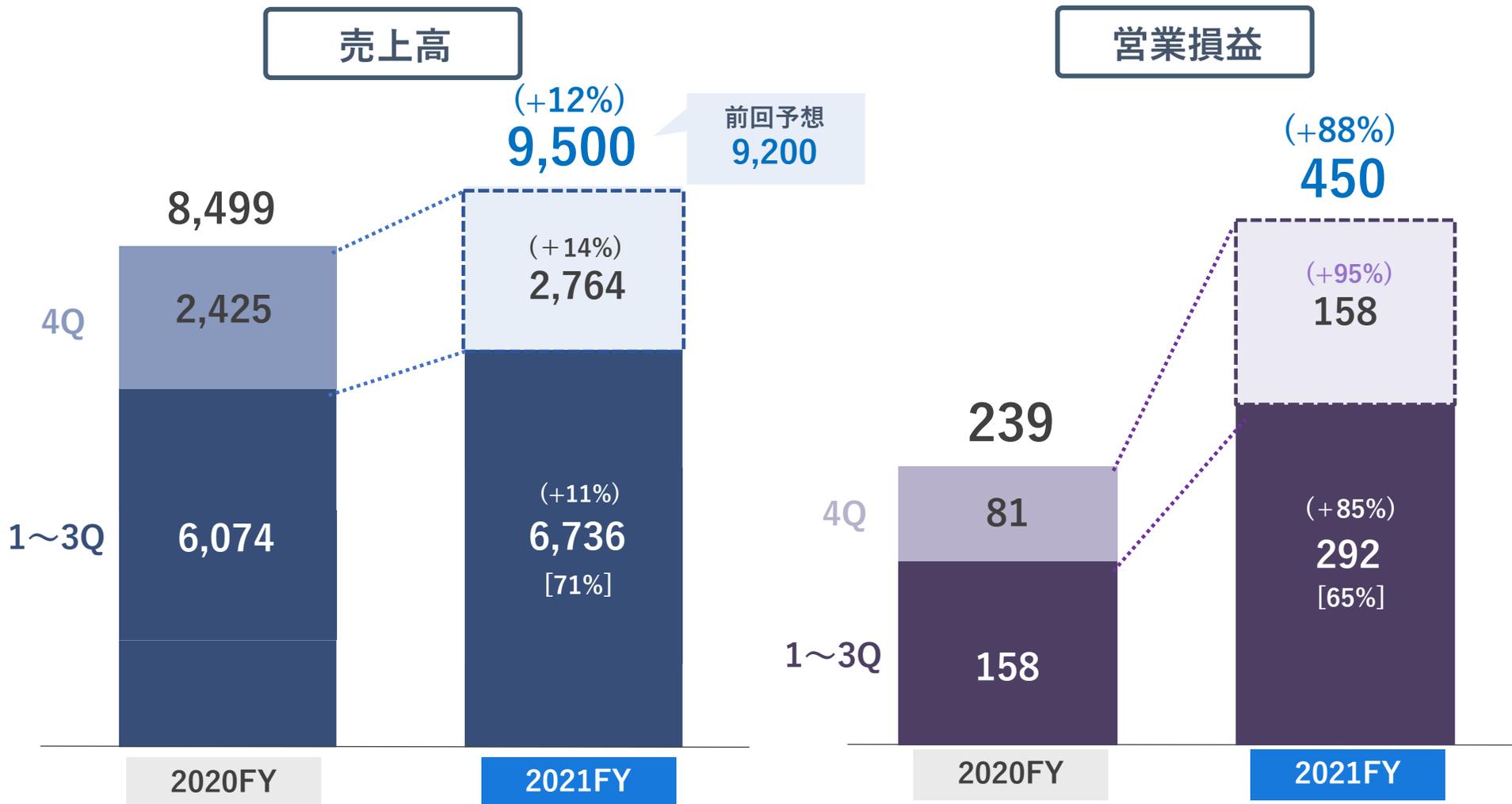
	前年度末(21/2)	当期末(21/11)	増減
流動資産	3,995	7,448	+3,453
現金及び預金	2,050	4,819	+2,769
売掛金・受取手形	1,038	1,095	+57
前渡金	192	692	+500
その他	715	842	+127
固定資産	2,881	1,490	▲1,391
有形固定資産	204	244	+40
無形固定資産	511	303	▲208
投資その他の資産	2,165	941	▲1,224
資産合計	6,876	8,938	+2,062
自己資本比率	75.6%	62.2%	▲13.4%

	前年度末(21/2)	当期末(21/11)	増減
流動負債	1,457	1,997	+540
前受金	127	348	+221
短期借入金・1年内返済予定の長期借入金	349	426	+77
その他	981	1,223	+242
固定負債	186	1,350	+1,164
負債合計	1,643	3,347	+1,704
株主資本(自己株式除く)	5,154	5,813	+659
その他の包括利益累計額	44	▲141	▲185
自己株式	—	▲115	▲115
新株予約権	33	34	+1
純資産合計	5,232	5,591	+359
負債・純資産合計	6,876	8,938	+2,062

JINS II : 2022年2月期 業績見通し

デバイスソリューションの復調に伴い売上高予想を上方修正
4Qは大きく増収・増益を見込む

単位：百万円 ()内は前年同期比 []内は進捗率



DXソリューション事業

■デバイスソリューション復調から拡大へ

- ・各種IoTデバイスや法人向けICT製品を中心としたWithコロナ時代の事業構造に転換
半導体不足の克服による生産正常化も軌道に乗り、本格的増産へ

■サービスソリューションも堅調に推移

- ・景気回復を見込んだ既存クライアント企業からの受注の回復と、DX領域での新規サービス
案件への取り組み拡大

X-Techサービス事業

■EdTech、HealthTech系サービスの好調継続

- ・法人向けの健康経営支援サービスやヘルスケアサービスプロデュース事業はコロナ禍を契機に
需要が拡大、GIGAスクールの本格始動を睨んだ教育コンテンツプロデュース事業も好調

■ビジネス系サービスも引き続き事業規模を拡大

- ・OfficeBOTやクラウドアドレス帳などコミュニケーションサービスが好調に推移
- ・アララ/バリューデザインとの協業によるハウス型プリペイド市場拡大への取り組み

■来期以降に向けたNintendo Switch事業への取り組みの推進

- ・「クレヨンしんちゃん『オラと博士の夏休み』」の海外向け完全ローカライズ版の開発 等

INS III : Appendix

所在地	東京都千代田区神田須田町1-23-1 住友不動産神田ビル2号館10F
連結従業員数 (2021年8月末時点)	450名 (国内259名・海外191名)
設立	2004年4月
上場 (証券コード：3627)	2008年5月 東証マザーズ上場 2012年1月 東証第一部へ市場変更
資本金 (2021年11月末時点)	2,391,021千円 発行済株式数 12,130,300株
主要法人株主 (2021年8月末時点)	株式会社NTTドコモ シャープ株式会社 KDDI株式会社
連結子会社	ネオス株式会社 JENESIS株式会社 創世訊聯科技(深圳)有限公司 (中国) 創紀精密科技(深圳)有限公司 (中国) Neos Vietnam International Co., Ltd (ベトナム) スタジオプラスコ株式会社
決算期	2月



JNSホールディングス傘下の事業会社
NEOS、JENESISを軸に2つの事業を展開

DX ソリューション事業

デバイスソリューション

中国深圳のサプライチェーンを活用した、小ロット・低コスト・高品質を担保する独自の生産体制を強みに、企画・設計から開発、量産、カスタマーサポートまで対応

サービスソリューション

ICT、IoTサービスにおける企画、UI/UXデザイン、コンテンツ・サイト・アプリ・システムの開発からクラウド構築、運用までをトータルで提供

X-Tech サービス事業

コンテンツ系Techサービス

知育アプリやヘルスケア、キャラクターコンテンツなど幅広くサービスを提供
教育・健康分野での知見を活かした法人向けサービスプロデュース事業も展開

ビジネス系Techサービス

業務の効率化を実現するチャットボット等のビジネスコミュニケーションサービスやキャッシュレス決済サービスを提供

※()内は対前年度末

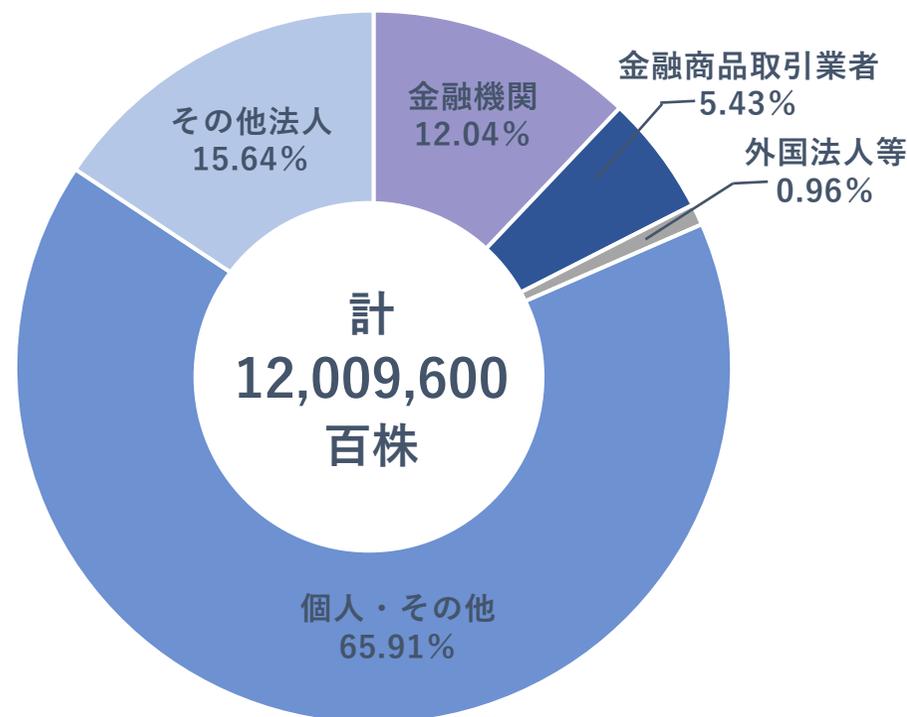
発行済み株式総数 12,009,600株
(+215,800)

株主数 6,962名
(▲602)

大株主(上位10名)

	所有株数(株)	持株比率(%)
池田 昌史	1,877,800	15.63
株式会社NTTドコモ	1,020,000	8.49
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	646,200	5.38
シャープ株式会社	360,000	2.99
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	215,100	1.79
井川 等	210,300	1.75
KDDI株式会社	210,000	1.74
株式会社SBI証券	202,954	1.68
藤岡 淳一	186,400	1.55
楽天証券株式会社	157,000	1.30

所有株式数分布





Leap walls,
Create the Future

“技術”と“感性”で
壁を越える、未来を創る

DX／X-Techのイノベーティブな技術と感性で
社会の発展と未来に貢献してまいります

 **IR** メールニュース
【購読無料】

当社IRに関する最新情報を
タイムリーにお届け致します
<https://www.jns.inc/ir/>